

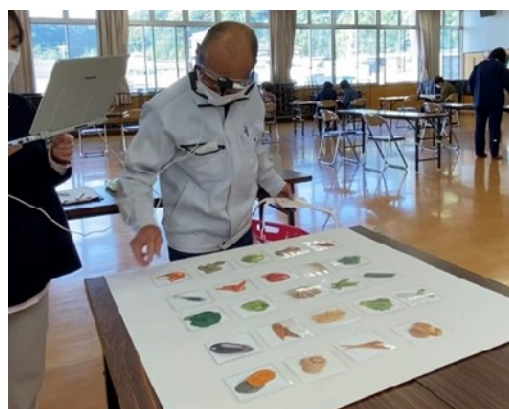
地域リハビリテーション学、発達障害作業療法学

准教授 仙波 梨沙
Risa Senba

現在の研究テーマと内容

現在、私の主要な研究テーマは「地域支援」です。子どもから高齢者まで、誰もが住み慣れた地域で心地よく暮らすためには、どのような支援が必要かを探究しています。

子どもに関する研究では、子どもの感覚や行動の特性と、保護者のストレスとの関連について取り組んでいます。一方、高齢者に関しては、買い物時における「物を探す行動」に着目した研究を行っています。



これまでの研究成果と今後の展開

これまでに、地域在住高齢者の買い物時における物品探索行動と認知機能との関連性を調査し、生活支援に対する新たな視点を提示しました。また、子どもの感覚や行動の特性と母親のストレスとの関連を調査し、家庭支援のあり方について検討を進めています。

今後は、高齢者の買い物に関する生活行動の研究をさらに深めるとともに、家庭や学校と連携した作業療法的支援の在り方についても研究を進めていく予定です。

大学院を目指すみなさんへメッセージ

地域支援には、包括的な視点と多角的なアプローチが求められます。分野を問わず、地域支援に関心のある方々と一緒に研究できることを楽しみにしています。